

平成26年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1 (2番) 永岡 正光	1 民間資源の活用策について	(1) 個人・企業等民間資源の活用と協業の考え、方向性について
	2 再生可能エネルギーの推進策について	(1) 公共施設への導入状況について
		(2) 導入後の運転管理状況と活用状況について
		(3) 導入前の見込み評価と導入後の評価検証について
		(4) 再生可能エネルギー推進への今後の考えと方向性について
	3 公共運動施設の管理運用について	(1) 施設利用者の施設管理状況について
		(2) 施設利用時の環境(騒音)と周辺地域住民への対応について
		(3) 施設管理全般に関する今後の方向性と考えについて
	4 J R原田駅前ロータリー広場の現状と活用策について	(1) ロータリー広場の交通量の現状について
		(2) ロータリー広場の有効活用と機能向上に関する今後の考えについて
2 (6番) 中川 康隆	1 生活困窮者自立支援について	(1) 組織体制について
	2 オープンデータについて	(1) オープンデータの取り組みについて
	3 地場産業育成について	(1) 緊急雇用創出事業について
3(9番) 尾野 正義	1 男女共同参画について	(1) 女性の社会進出を後押しする制度を考えてはどうか。
4 (7番) 宮原 智美	1 性同一性障害について	(1) 性同一性障害に関する文部科学省の通知、調査の趣旨、取り扱いについて
		(2) 人権啓発の課題とされているが、市のこれまでの取り組みはどうなっているか。
		(3) 市の公的な機関での申請書等の性別記載の見直しについて
5 (12番) 下成 正一	1 高齢者対策について	(1) 筑紫野市の高齢化対策・健康寿命に対する取り組みについて
		(2) 高齢者健康遊具施設について
	2 ゆるキャラを活かした街の活性化について	(1) ゆるキャラが地域にもたらす効果について
		(2) マスコットキャラクター「つくしちゃん」管理・運営・サポートについて
		(3) つくしちゃんは年間どの程度の頻度で出動しているのか。
		(4) ゆるキャラの活用について
6(1番) 武光 誠	1 高等学校等就学支援金制度について	(1) 中学校での周知について
	2 高校生等奨学給付金について	(1) 高校奨学金制度の維持、継続について

平成26年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
7(15番) 城間 広子	1 子ども・子育て支援新制度について	(1) 保育水準の確保と保育所保育の拡充をめざし、小規模保育認可基準は認可保育所と同等の基準を設け、条例化を。
		(2) 保育士は常勤・正規雇用を基本に。保育士不足解消のため、臨時保育士の待遇改善について
		(3) 保育料の引き下げについて
		(4) 学童保育も条例化が定められた。厚労省の新基準、1クラス40人以内、6年生までの受け入れにそった検討を。
		(5) 学童保育料(一律月7500円)の引き下げ 困難家庭への減免制度の拡充について
		(6) 障害児保育、特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の重視について
	2 入札制度について	(1) 物品・役務について 小規模の地場業者の受注機会を増やすため、指名業者数等の再検討を。
		(2) 2012年起工第37号、土木起工第15号工事は予定価格、指名業者、落札者、落札額が同一であることの説明を。
		(3) 「指名競争入札参加者の指名選定等に関する要綱」、「指名業者等選定手続に関する規則」の見直しについて
	3 特別支援教育の充実について	(1) 各学校の介助員は、文科省の特別支援教育支援員として位置づけを。
		(2) 介助員(支援員)の増員、社会保険加入など、待遇改善について
		(3) 介助員(支援員)の研修の重要性について
(4) 介助員(支援員)を含む学校関係者・保護者の相互理解、協調をすすめるための図書の実、環境作りについて		
8(16番) 篠原 範子	1 緊急雇用対策について	(1) 本年度の地域活性化事業と同様の事業は、全市どの地域を拠点にしても展開できる事業であると考えている。見解を。
		(2) 本年度「薬師の杜」を拠点とした事業の委託先は随意契約となっている。受託者の選択は慎重に行われたのか。
		(3) 「緊急雇用創出臨時特例基金」での雇用人数は。部落解放同盟地協事務所に位置する3NPO法人での雇用人数は。
		(4) 求人方法は。雇用された方々はどのような方法で雇用されたのか。広範な市民に就労の機会が保障されたのか。
		(5) 「非正規雇用労働者、中高年者、障害者の方をできる限り雇用」とあるが、雇用の実態はどうか。
		(6) 事業の目的である「自立支援」については、事業終了後の雇用された方々の就労状況は把握されているのか。
		(7) 市の委託仕様書には「単独で継続して行うことができる事業」と要件を定めている。この要件は満たされるのか。
	2 地域包括支援センターについて	(1) 一地域包括支援センターが対応する適正人数は何人か。対象となる市民の人数は、専門職は何人か。
		(2) それぞれのセンターの支援者数は何人か。また、相談件数が増える傾向にあると聞くが、どうか。
		(3) 行政との連携はどのようにしているのか。
(4) 地域包括支援センターを増やすべき。直営にすべきではないか、見解を聞く。		
3 土砂災害・急傾斜崩壊危険箇所について	(1) ハザードマップに記載されている急傾斜地崩壊危険箇所は何カ所か。市有地は何カ所になるのか。	
	(2) 市有地の急傾斜地崩壊防止対策はどうか。	
	(3) 小規模急傾斜地崩壊対策事業を検討すべきではないか。	

平成26年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
9(19番) 田中 允	1 市職員の定数と人数について	(1) 市職員の定数について
		(2) 市職員の新規採用と非正規職員・再任用職員のバランスについて
		(3) 住民自治の推進との関連について
		(4) 実態と今後の方針について
	2 非正規職員の身分と待遇について	(1) 市の基本的な考え方について
		(2) ワークシェアリングとして捉えているのか。
		(3) 短期任用が原則の非正規職員を専門職として育てて行くのか。
		(4) 非正規職員の身分と待遇についてどの様に取り組むのか。
		(5) 障害者・高齢者の採用について
	3 交差点の改良について	(1) 新設された天拝公園入口交差点に続く塔原1号交差点や旧国道3号線諸田西交差点の右折レーンの確保について
		(2) 今後、新たに設置される交差点や新設道路について安全確保をどのように図るのか。
	4 ウィンドウズXP問題について	(1) 基本OSはXPが使用されているのか。
		(2) XPはサポート期間が今年で終了するがセキュリティーはどのように確保されているのか。
		(3) コンピューターは市職員の削減に効果を発揮しているのか。
5 施政方針にある増加する不登校児童の対策について	(1) これまでの推移と現状はどうなっているのか。	
	(2) 相談体制の強化や他機関との連携し改善をはかるとあるが具体的に。	
6 施政方針にある子ども・子育て支援について	(1) 認可保育所の建て替えの補助について	
	(2) そのプロセスについて	
10(3番) 辻本美恵子	1 学校における省エネルギーについて	(1) 環境にやさしい行動計画の中で、学校はどのような取り組みをしているのか。
		(2) 小中学校にクーラーが導入されるが、学校で省エネルギーの取り組みをするべきではないか。
	2 男女共同参画推進について	(1) 第2次男女共同参画プランの進行状況について
		(2) プラン目標の4 「活力あるまちづくり」の取り組みについて
		(3) 男女共同参画推進研修事業について
	3 市庁舎建設について	(1) 市庁舎建替の必要性について
		(2) 市民アンケートとニーズ調査について
		(3) 市庁舎建設庁内検討委員会の検討について
	4 産廃問題について	(1) 山神ダム上流域の産廃処分場周辺水質調査について
		(2) 山家地区の産業廃棄物処理施設建設計画意見書について
		(3) 山家地区の産業廃棄物処理施設周辺環境調査について